ル電流モ強イトイフ結果が表サレテ居ル。(川上)

拔牙直後ニ於ケル總義齒

Immediate full restorations. By S. S. Jaffe, D. D. S.

March, 1932. J. A. D. A.

上下咬合關係ヲ保テル齒牙ヲ全顎ニ互リ、一齊ニ拔去スル場合前以テ患者ニ裝著スベキ總義齒ヲ調製シ置キ齒牙拔去ト同時ニ直ニ之ヲ裝著スル方法ハ、著者ノ臨牀上ノ經驗ヨリ大イニ推賞スベキモノト云フテ居ル。

1. 此ノ方法ニヨレバ患者ハ拔牙後ノ疼痛ハ反ツテ輕減サレ、而カモ義齒が副木或ハ繃帶ノ作用ヲナス爲メニ、手術後ノ齒槽部ノ感染或ハ外傷ヲ防グノミナラズ其ノ治癒ヲ促進サセル。
2. 患者ニ初メノ24時間ハ手術後ノ安靜ヲ保タセル爲メニ絶體ニ義齒ヲ除去サセナイ様ニ注意スル、此ノ爲メ患者ハ義齒ニ對シテ習慣付ケラレル事ニナル。
3. 外觀的ニ患者ハ齒牙ノ喪失ニヨル外貌ノ變化ヲ未然ニ防ギ得ル爲メニ、精神的ニモ益スル事甚大ナル、又發音ノ障礙モ或ル程度マテ輕減出來ル。
4. 義齒ノ裝著ハ患者ノ口腔ガ拔牙時ノ注射テ鈍麻狀態ニアル間ニ行ハレル爲メニ殆ド疼痛ハ伴ハナイ、而モ鈍麻作用ノ消失スル時分ニハ既ニ幾分義齒ニ對スル習慣性ヲ作ツテ居ル。
5. 即時義齒ノ特徴ハ自然ナ狀態ニ於テ咀嚼作用ヲ營ミ得ルヲ以テ、夫レガ爲メニ筋肉ノ過勞ヤ其ノ他ノ障礙ヲ防ギ得ル。
6. 輕イ而モ平均シタ義齒牀ノ壓ト云フモノハ寧ろ患者ニ取ツテ氣持チノヨイモノデアリ、又此ノ間歇的ノ壓ト云フモノハ骨ノ石灰沈著ヲ促進スル。
7. 拔牙後ノ出血ニ際シ義齒牀ハ出血創ニ適合セル繃帶ノ如キ作用ヲナシ血餅ヲ保持スルニ役立つ。

即時義齒ヲ調製スルニ當ツテハ患者ニ對スル口腔及ビ全身の診斷ハ勿論嚴密ニ行ハレナケレバナラヌ。

調製法

1. 印象ハ拔牙前ノ上下顎ノ模型ヲ各々二個採得スル、印象材品トシテハ石膏デモ「モデリン グコンパウンド」デモヨイガ著者バ「デントコール」Dentocollヲ推賞シテ居ル、印象ハ鰓頰移行部ヨリ軟、硬口蓋移行部ニ至ル迄充分ニ深ク採得スル。以上2個ノ印象ノ内1個ハ保存サルベキモノデ他ハ義齒調製ノ目的ニ用ヒラレル。
2. 陶齒ノ選擇ハ拔牙前ニ行ハレルモノデ即チ其ノ色澤、形狀、大小等ハ出來ルダケ天然齒ニ近似ノモノヲ選定シ置ク。
3. 上下顎ノ模型ハ石膏ヲ以テ作り之ヲ適當ナ解剖的咬合器上ニ移ス。勿論中心咬合ノ位置其ノ他ノ條件ヲ具備サセテ全ク自然ノ狀態ニ近クスル。